

『薬物治療塾』

Webでの遠隔講義にて開催中

講義要項 (第16期前期コース : 2024/11~2025/3)

対象	コース	定員	担当講師
全ての薬剤師 または 薬学生(4年生以上)	【A-1】 PK/PD入門コース	40名	緒方宏泰 (明治薬科大学 名誉教授)
	【B-1】 臨床統計入門コース	40名	小川竜一 (アムジェン(株)メディカルアフェアーズ本部)
	【C-1】 薬物治療文献コース	40名	花井雄貴 (東邦大学薬学部) 望月伸夫 (TOPPAN(株)ヘルスデータ事業部) 山口諒 (東京大学医学部附属病院)
A~Cコースいずれかを 既に受講されている方	【D-1】 自らが取り組む 新医薬品の客観的評価コース	15名	受講生による自主運営

オンライン会議ツール(Webex)を使用した遠隔講義を行います

各コースはそれぞれ
前期 5回・後期 5回
13:10~16:20の3時間
(休憩10分含む)
月1回日曜日/祝日に開催します

会費：
A~Cコース5回分 (15時間)
一般会費 6,000円
特別会費¹⁾ 4,000円
学生会費²⁾ 4,000円

Dコース5回分 (15時間)
一律 2,000円

- 1) 特別会費対象者：
・日本アプライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会会員
・薬物治療モニタリング研究会会員
- 2) 学生会費対象者：
・薬学系大学4年生以上

申し込み方法：
詳細はHPをご覧ください
<http://plaza.umin.ac.jp/~juku-PT/>

講義概要 (いずれも講義と演習のスタイル)

A-1コース：臨床薬物動態情報の読み方を学び、式を極力使わず、薬物の体内の動きをイメージとして把握出来るようにします。また、各薬物の特徴づけから治療への適応を考えられるようにします。

B-1コース：検定・推定 (パラメトリック、ノンパラメトリック) を中心に、式などは極力避け、統計の考え方をイメージで把握できるように努め、統計データの読み方のポイントを学びます。

C-1コース：実際の臨床試験論文を取り上げながら、講義と演習を通じて、記載された方法・結果・図表データ等から把握すべき情報を正確に読み取るスキルを身につけます。読み取った情報を批判的に吟味し、治療法の有効性や安全性、予後などを自ら評価できるようになることを目指します。

D-1コース：本コースは既にA~Cコースのいずれかを受講された方々による自主運営のコースです。A~Cコースで学んだ臨床薬物動態、統計、文献評価の知識をもとに、実臨床で使われている医薬品の有効性・安全性に関する全体像の把握に取り組みます。それらの取り組みを通して、医薬品の有効性・安全性、更にそれらの医薬品情報に対する客観的な評価能力を身につけ、医療者に適切に情報提供が行えることを目指します。

運営方法・形式は参加者全員による討論形式です。事前に指定された医薬品について班毎に検討内容を事前に分担し、当日は発表担当班の検討内容をもとに議論を進めます。

なお、Dコースでは見学視聴を受け付けております。いきなりのコース参加に不安がある方、実際に勉強会を体験してみたい方は一度見学視聴をしてみてください。見学視聴を希望される方は資料をお送りしますので「jukupt.d@gmail.com」まで御連絡下さい。

代表 緒方宏泰 (明治薬科大学 名誉教授)

9月1日より

第16期前期コース
受講者募集開始